

# 越嶺会報

令和4年(2022年)7月1日

第92号

発行 越嶺会本部

〒930-8555(富山市五福3190)

富山大学経済学部内

☎(076)445-6411(ダイヤルイン)

Fax(076)445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ



## 2022年10月5日(水) 18:30

### 越嶺会総会を開きます

三年ぶりです。久しぶりに会いましょう。

会場は、富山駅北「カナルパークホテル富山」です。

— 24頁をご覧ください —

※新型コロナ等の状況により、変更する場合があります。  
予めご了承願います。

### 目次

越嶺随想	2	本部だより	16
映画「私は白鳥」に寄せて 澤江弘一		中尾哲雄さん(越嶺会最高顧問 学部8回)	
母校だより	4	が富山県立大学から名誉博士号	
教員の異動		叙勲おめでとうございます	
定年退職 森岡裕教授、金奉吉教授		戸神範雄さん(学部21回)	
退職 宮井清暢教授		榎 春夫さん(学部22回)	
新任 翟助教、高原助教		中村昌弘さん(学部22回)	
日隈助教、高野助教		寄付御礼	
(極東) ギータ・モハン教授		塚田隆様、石田五十六様、林重彦様	
金奉吉教授最終講義		斎藤基績様、東山伊久雄様、吉崎明弘様	
退職(転出)にあたって		支部総会……関西、東海は取り止めます。	
白石俊輔教授、増田友樹准教授		寄贈図書紹介・御礼	
木戸茜講師、高木修一講師		卒業論文をお返します	17
卒業 学部長式辞・越嶺会長祝辞		卒業論文を手にして	杉浦吉治
入学 入学生への「特別講義」	12	あれから半世紀	塩谷恭子
手崎裕之		会員の訃報	20
学生の活動	14	富山大学基金だより	21
		越嶺会ゴルフ大会(8月20日)	23
		越嶺会総会のご案内	24

## 越嶺随想

## 映画「私は白鳥」に寄せて

澤江弘一



越嶺会の皆様、初めまして。この度、私の出演した映画「私は白鳥」を名古屋でご覧になった方から事務局へ投書があり、越嶺会報で紹介させていただきました。ただ、このこととなりました。

まず、**学生時代の思い出といえど部活動です。**陸上部に所属しトレーニングに励みましました。でも試合に出ることはできず、いつも写真とビデオの係でした。それでも、楽しく充実した思い出として心の中にいとおいしく存在していま

す。あと、同級生と称名滝へドライブしたことを覚えています。三日連続で行ったこともありました。

**卒業後は県内企業の株アリタさんにお世話になりました。**越嶺会の先輩が何人もいらして、なかでも直属の上司・堀川一臣さんは、高校も血液型も誕生日までもが同じという偶然。何かと親身にご指導いただきました。

会社員時代に一度だけ小さな一等賞を取ったことがあります。あるメーカーのボイラーの販売台数を競うもので、何年もトップだったベテラン社員さんに一台差で勝つてしまいました。夜討ち朝駆けで得意先を回り必死な思いで手にした小さな一等賞でした。営業マンとしての自信を持ちかけていた入社五年目のころ、燃料店を営む父が体調を崩し、「お客様に迷惑をかけて

はならない」という父の強い思いから、家業を手伝うことになりました。会社にも馴染み自信も持ちかけていたので、心残りの退職でした。父とは九年間家業を共にしました。仕事柄、家を空けることもできず、また人生を楽しむ余裕もなく必死に家業を守ってきました。

五十代を前に時間的余裕ができて**人生を楽しもうと思いつて出かけることでした。**カメラではなく、なぜかビデオカメラでした。

二〇一二年十一月十一日、風の強い日でした。向かったのは大好きな称名滝でした。この日、幻の滝・ハンノキ滝も出現していました。そのハンノキ滝が強い風に吹き飛ばされて、まるで龍が飛んでいるように見えました。迫力ある光景を撮影でき発表の場が欲しくなりました。見つけたのが、NHKのマイビデオのコーナーでした。八年間ですべて七回採用され、私の主戦場となりました。

## 被写体を求める中、ついに

**出会ったのが白鳥でした。**目の前に飛来し、大騒ぎしていました。その姿に衝撃を受け一瞬で虜になっていました。不思議なもので、朝が苦手だったのが、日の出前から白鳥の元へ出かけるようになりました。十月初めから初飛来を待ち、北へ帰るまでの半年間、白鳥を追い続けて来ました。毎朝、白鳥のねぐらを巡り飛来数をカウントし白鳥の生態の撮影を続けています。観察を重ね、くちばしの模様から個体識別し名前を付けて楽しむようにもなりました。

**二〇一七年三月オオハクチヨウの幼鳥が一羽残されました。**カモとの競争に負け食べることができず、ふらついて歩くこともできなくなっていました。口元に餌を投げてやり根気強く世話を続けました。富山でのんびりと暮らしてほしいとピリーと名付けて朝夕二度田尻池に通いました。すると、元気になる食べたあと、ありがとうと言わんばかりに飛んでくれるようになりました。一安心していた矢先、五十二日目の朝、首が折れて死んでしまいました。

チューリップテレビさんに

出会ったのは、この年の十二月でした。白鳥に関して野鳥の会に問い合わせたところ私を紹介されたことでした。その後、ドキュメンタリ番組を作りたいとのことで、長いお付き合いが始まりました。

取材担当はまだ一年目の若い記者さんで、良い番組を作りたいと目を輝かせてお話しされていました。その熱意に押され最優先で全面協力すると心に決めました。

二〇一八年二月、翼を傷めエサ場に行けない白鳥の存在に気付きました。それは、目の前の小さな命を守るための長い戦いの始まりでした。

このオオハクチョウとの一年余りの物語は、ドキュメンタリー番組「私は白鳥」として完成し、二〇一九年五月二十六日に富山で放送されました。十二月七日にはTBSの全国ネット番組「報道特集」で短縮版が放送されました。多くの方から反響が寄せられ、テレビ版「私は白鳥」は高い評価を受けることとなりました。

第三九回「地方の時代」映像祭で選奨を、第四四回JNNネットワーク地域・環境番組

部門で協議会賞を受賞。そして全部門の中から最高賞であるJNNネットワーク大賞を受賞しました。また、第二四回中部テレビ大賞でも大賞を海外でも一九六七年から続く世界最大級の映画祭アメリカ国際フィルム・ビデオ祭で「ゴールドカメラ」を受賞。一〇〇〇件以上の応募の中から二六作品が選ばれたとのことでした。因みに受賞はすべてチューリップテレビさんです。

テレビ番組として大きな成功を収め「私は白鳥」は映画化されることとなりました。

当初、テレビ番組をそのまま映画にするとのことでしたが、取材終了後の二年を超えてる映像(ブルーレイディスク約三〇〇枚)を提供し映画の後半部分は、ほぼ私の映像で構成されることとなりました。



製作にはチューリップテレビにTBSテレビも加わり強力なものとなりました。

小さな欠片のような私の映像たちは、榎谷茂博監督や五藤充哉カメラマンにより編集され、また、いろんな部門のスタッフに磨き上げられて、石崎ひゅーいさんの主題歌「スワンソング」にあるようにダイヤモンドのように輝き出したように思えます。ここに白鳥のように美しい天海祐希さんの語りが加わり、より一層輝きを増しました。

映画「私は白鳥」は二〇二一年十一月二十日から富山市のほとり座さんで先行上映され、その後全国で順次上映されています。上映に際して舞台挨拶やサイン会など私には過分な晴れ舞台を経験させていただきました。ほとり座さんには毎日通い映画を見たお客さんとお話をするのができました。皆さんは私を見て「本物だー」と喜んでくださいました。

パンフレットの販売にも力を入れました。期間中に二八〇冊お買い上げいただきスタッフの皆さんにも喜んでいた

いただきました。上映期間中、笑顔で迎え入れてくださったほとり座のスタッフの皆さん、ありがとうございます。

二〇二二年三月十一日からTOSHOSHINEMAZUFAPORレ富山にて県内アンコール上映が開始され、十三日には記念イベントでマイクを握り解説やクイズの司会をさせてもらいました。大変充実した時間でした。

私の人生は、白鳥たちのように何千キロも旅するものにはありませんでした。それがビデオカメラを手にして白鳥たちに出会うことにより、奇跡の物語「私は白鳥」として日本全国を旅し海外にまで飛んでいきました。

越嶺会の皆様、お近くに映画「私は白鳥」が舞い降りた際には、ご鑑賞いただきませうようヨロシクお願い申し上げます。

これからも一人でも多くの方の心に映画「私は白鳥」が、そして主題歌「スワンソング」が届きますようお願いいたします。

さわえ・こういち  
学部三二回

# 母校だより

## 教員の異動

**定年退職** (三月三十一日付)

森岡 裕・教授

(ロシア電力事情)

金 奉吉・教授

(開発経済学・

東アジア経済論)

**退職** (三月三十一日付)

宮井清暢教授(憲法)

**新任** (四月一日付)



翟 唯揚(てき いよう)助教

経済学科(応用計量経済学)

最終学歴・滋賀大学大学院

前職・滋賀大学大学院生

生年・一九九〇年七月

出身地・中国 上海市

**ひとこと**・私は二〇一六年に

滋賀大学大学院進学に伴い上

海から来日し、六年間ずっと

彦根に暮らしてきました。初

めて富山を訪ねた時は目の前

で広がる海とその横に聳え立つ立山連峰に感動したと同時に、このような場所で人生の新しいステージを始めることに喜びも感じていました。親切に助けてくださった先生と職員方々のおかげで、不安な気持ちも少しずつなくなりました。

これまでは経常収支や為替レートなどの国際金融テーマを中心とする実証研究を行ってきました。今後は富山大学の一員として研究及び教育に全力で取り込む所存です。どうぞよろしくお願い致します。



高原 豪(たかはら・つよし) 助教

経済学科(ミクロ経済学)

最終学歴・大阪大学経済学研

究科博士後期課程修了(経済学博士)

前職・関西学院大学商学部助教

生年・一九八六年四月

出身地・愛知県一宮市

**ひとこと**・二〇一〇年三月南

山大学経済学部卒業後、大阪

大学経済学研究科に入学しました。二〇一九年三月に大学院を修了し、関西学院大学商学部にて三年間勤務しました。

美しい自然豊かな富山県で暮らし、素晴らしい研究環境を持つ富山大学経済学部で教員として着任できたことは非常に光栄です。

研究分野は応用ミクロ経済学(産業組織論・契約理論)で、主に医療サービス市場の分析を行っています。今後はより一層研究に励み、研究成果を社会に還元できるように努力します。また、教育においても精一杯取り組み、微力ながら富山大学経済学部の発展に貢献できればと考えております。よろしくお願い致します。



日隈美朱(ひぐま・みあけ) 助教

経営学科(流通論)

担当・流通論

最終学歴・京都大学大学院

経済学研究科 博士後期課程単位認定修了

前職・名古屋経済大学 経済学部准教授

生年・一九八五年

出身地・愛知県岡崎市

**ひとこと**・祖父が漁師であつたため、海苔の取引・流通制度に関する歴史研究をしています。

海苔の産地である愛知と、消費地である富山は、大正時代から共同販売を通じた長期的な取引関係にあります。

日本人になじみ深い食品であるものの解明されていない部分もあり、研究を通じて新たな発見や学びの楽しさを学生たちと共有したいと思っています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



高野詩菜(たかの・しいな) 寄附講座客員助教

データサイエンス寄附講座

最終学歴・富山大学大学院

理工学教育部 博士課程数理・ヒューマンシステム科

理工学教育部 博士課程数理・ヒューマンシステム科

学専攻単位取得退学  
(前職)・富山大学大学院理  
工学教育部博士課程数理・  
ヒューマンシステム科学専  
攻大学院生

生年・一九九四年七月  
出身地・富山県(射水市)

**ひとこと**・私は富山で生まれ、富山で育ちました。九年前に本学に入學し、三月までは院生として地域公共交通に関する研究を行い、これまでにコミュニティバスの満足度の分析等を行ってきました。そして四月からは教員として引き続き本学にご縁をいただき、大変嬉しく思っております。担当させて頂いたデータサイエンス寄附講座を通して、教育および研究に精一杯取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

極東地域研究センター

(五月一日付)



Geetha Mohan

(ギータ モハン) 教授

所属・極東地域研究センター  
担当・専門・サステイナビリティ学  
最終学歴・アンドウラ大学大学院経済学研究科 博士  
(経済学)

前職・国連大学サステイナビリティ高等研究所研究員

生年・一九八〇年七月二六日  
出身・インド

**ひとこと**・これまで私は、国連大学サステイナビリティ高等研究所において、持続可能な目標(SDG)6に関する「持続可能な開発のための水」プロジェクトの包括的研究計画の立案に従事し、インドネシア、タイ、ネパール、インドなどの発展途上国の持続可能な都市水環境政策に貢献する研究に取り組んできました。

また、東南アジアの農業生産システムにおける作物シミュレーション・モデリングの開発や発展途上国の気候リスクの影響に関する能力開発に取り組んでいます。

富山大学では、途上国の持続可能な開発目標(SDG)の地方、地域、国レベルの進捗における指標のパフォーマンスを評価するための持続可能

な評価ツールやフレームワークを開発することに取り組み、富山大学のSDGs教育や研究に貢献していきたいと考えています。

すばらしい同僚たちとともに新しく設置された大学院持続可能社会創生学環グローバルSDGsプログラムで教鞭をとり、富山で研究できることを大変うれしく思っています。

## 転出

転出(三月三十一日付)

白石俊輔教授(経営学科・計画数学)、一九八〇年四月着任。広島工業大学情報学部情報コミュニケーション学科へ。

増田友樹准教授(商法・コーポレートガバナンス)二〇一七年四月着任。青山学院大学法学部へ。

木戸茜講師(民法―契約法)二〇一八年四月着任。京都府立大学公共政策学部へ。

高木修一講師(経営戦略論)二〇一八年一月着任。大阪公立大学商学部へ。

## 金 奉吉先生最終講義

極東地域研究センター講演会  
日時・二〇二二年三月一日  
午後三時〜五時



和田直也・富山大学研究推進機構極東地域研究センター長が開会挨拶を述べ金先生のこれまでの貢献に謝意を表しました。

基調講演には公益財団法人環日本海経済研究所(RENZ)主任研究員の中島朋義先生をお迎えし「中国のTPP加盟申請とアジア太平洋」と題してお話しいただきました。

続いて、金教授が「東アジアにおけるメガFTAと韓日関係」と題して講演された。先生は、韓国テグ市ご出身で、韓国ヨンナム大学校をご卒業ののち、神戸大学大学院経済学研究科で学ばれ、神戸大学にて助教授を務められたのちに、二〇〇二年富山大学

経済学部教授に着任されました。極東地域研究センター発足間もない頃から現在に至るまで同センターの併任教授も務められ、富山大学と韓国の諸大学との交流に尽力されました。今年三月をもって定年退職されることから、記念最終講演の運びとなりました。



も含め二三名、オフィスには極東地域研究センタースタッフを中心に一〇名ほどが集いました。

金教授の講演は、お人柄がよく表れた講演で、極東地域

研究センターとともにさまざまなプロジェクトを通じて研究者として成長できたことへの感謝の気持ちを述べられた。

また、東アジアが地政学的にも地経済的にも急変するなか、地域的な包括的経済連携協定(RCEP)が新冷戦時代の東アジアの秩序形成と平和構築と経済発展の軸たる多国間協力の枠組みとなることを期待すると話されました。

さらに、日韓関係に尽力されてきた金先生らしく、日韓関係が歴史問題から安全保障や経済まで相互不信が増幅しつつある「合併症」の治療を模索するという日韓両国関係に優しい眼差しをもつ講演でした。

講演会には、森口毅彦経済学部長から祝辞をいただき、金教授ゼミの皆さんの花束贈呈もありました。学生さんからプレゼンテーション力の向上など金先生の親身な指導への心温まる謝辞がありました。講演会終了後には、遠隔で参加したみなさんと談話する機会もあり、温かい雰囲気での講演会でした。

## 退職(転出)にあたって



白石 俊輔

一九八〇年の富山大学経済学部の採用バブルのおかげで(同期の先生は十名以上いたと思います)、助手に採用いただいたから三十年以上が経ちました。二〇二二年三月で富山大学を退職いたします。

富山大学では素晴らしい環境に恵まれ、教育・研究に専念できました。学生諸君をはじめ、教職員の皆様に感謝したいと思います。富山大学での教育で特に印象に残ったのが、教養教育とインターンシップです。教養教育院という組織で、三大学が統合したばかりの時期の教養教育を模索しながら、進めていったことが懐かしく思い出されます。他学部の先生との深い交流は、なによりの財産となりました。インターンシップでは、越嶺会のみなさまのおかげで、暗中模索だった事業を軌道にの

せることができただけではないかと思えます。OG、OBの皆様のおかげには本当に助けられました。

硬式野球部の部長も務めさせてもらいました。1部リーグに昇格した時の喜びは格別でした。最高成績、リーグ戦三位は誇らしい実績となりました。部員諸君に感謝するとともに今後のいっそうの活躍を祈念しております。

写真は研究室にて二〇一六年新調のVジャンパーを着て(しらいし・しゅんすけ)

## 退職(転出)にあたって

増田 友樹

私は、二〇一七年四月に富山大学経済学部に着任いたしました。着任したときに研究室からみえた立山に感動したことを今でも覚えています。

富山大学で過ごした五年間は、とても楽しかったです。

これは、教職員や学生の皆さまのおかげです。

学内業務等でわからないことについて質問すると、教職員の方々からは丁寧に教えてもらえました。また、私の拙

い授業に積極的に質問してくれる学生からは、自身の改善点を気づかせてもらいました。このような恵まれた環境を与えていただいた富山大学経済学部には、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。次の勤務先である青山学院大学におきましても、富山大学での経験をいかして、引き続き研究・教育に精進してまいります。写真は、ゼミ生のクリスマスパーティーに呼ばれたときのもので、写真右上の男性が私です。(ますだ・ともき)



### 退職(転出)にあたって

木戸 茜



この度、二〇二一年度をもって富山大学を退職することになりました。二〇一八年四月に着任してからの四年間、落ち着いた環境で研究・教育に専心させていただき、感謝申し上げます。

同僚の先生方、とりわけ同じ民法担当の先生方には、授業の相談から研究面でのサポートまで本当にお世話になりました。いただいた数多くの貴重なアドバイスは、現在の私の糧となっております。種々の委員会で一緒に先生活方、総務課や教務課の方々にもお世話になってばかりの日々でした。どんな質問にも温かくかつ的確にご対応いただき、ありがとうございました。業務を遂行してこられたと感謝しております。ゼミ等で学生と活発な議論を交わしたことも忘れ得ぬ思い出です。この二年ほどは対面での交流がしづらい状況で

### 退職(転出)にあたって

高木 修一



二〇一八年一月に着任してから、あつという間の四年三カ月でした。前半二年間は特任講師として研究に集中させていただき、後半二年間はコロナウィルスに翻弄される日々でした。二〇一八年と二〇二一年には大雪も経験いたしました。様々なイベントに見舞われましたが、おかげさまで大過なく過ごすことができました。

短い期間でしたが、数多くの得難い経験を積ませて頂きました。企業調査への同行、他大学の先生方との共同研究、高校訪問や模擬授業、懇親会など、大学教員として必要なスキルを身に着ける機会をたくさん与えて頂きました。今後の研究者人生の中で受けたご恩を少しずつお返しできればと考えております。最後になりましたが、富山大学の先生・職員など関係者の方々に厚く御礼申し上げます。同時に、今後ともよろしくお願いいたします。(8頁に続く)

今後はいただいたご恩を心に刻み、より一層研究・教育に励んでまいりたいと思えます。これまで本当にありがとうございました。末筆ではございますが、富山大学経済学部の益々のご発展を心より祈念申し上げます。(きど・あかね)



写真は二〇二一年一月十日の富山駅近辺です。雪の影響で路面電車すら走行しておらず、駅前とは思えぬほどの静寂にまつまれておりました。(たかぎ・しゅういち)

**卒業**

二〇二二年三月二三日富山市総合体育館にて十時から理学部等の第一部、十三時から経済学部等の第二部が挙行された。

午後二時から、引き続き同体育館にて経済学部学位記授与式を行われ、森口経済学部長が式辞を述べ、来賓として

伍嶋越嶺会長が祝辞を贈った。第七〇回となる今年度の卒業生は、経済学部昼間主コース三一七、夜間主コース三二二。

第三〇回大学院経済学研究科生が一七名であった。

卒業生修了生代表として昼間主コース経営法学科の元濱知之さんが挨拶を述べた。

また、元濱知之さんと鈴木じゅんさんが学長表彰を受け、成績優秀者として大学院経済学研究科企業経営専攻の田中夕香子さんが学部長から表彰を受けた。



柳原ゼミ



岩内ゼミ



森岡ゼミ

経済学部 部長 式辞



皆さん、ご卒業、修了おめでとうございます。今日の日を迎えられたことを、経済学部教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。

また、これまで皆さんの学業を支えてこられたご家族の皆様にも、心よりお慶び申し上げます。

そして、来賓として、経済学部同窓会・越嶺会の伍嶋会長にご臨席賜り、学位記の授与を行うことは、私たちの慶びとするところであります。

さて、卒業生・修了生の皆さんは、本日をもって大学での学びを終え、社会にむけて巣立って行かれます。それぞれが社会人としての生活に大きな期待と希望を抱いていることと思います。

ただ、世の中を見渡してみると、大きな環境の変化が頻

発していることを実感されることと思います。新型コロナウイルスによってこの二年間大きく振り回され、せつかくの学生生活に不自由を強いられ、学生時代にやり残したと思うことがまだたくさんあるかもしれません。コロナに關してはこの先どうなるか見通せない状況にあり、皆さんの社会人としての生活にも影響を与えていきそうです。

さらにロシアによるウクライナ侵攻という信じられないような出来事が起こり、ニュースやネットなどで悲惨な映像を目の当たりにし、怒りや悲しみ、不条理感、無力感など様々な感情が沸き起こり、心を揺さぶられたのではないかと思います。

このような環境の大きな変化はこの後も間違いなく続くでしょう。そしてそれが起こる間隔はますます狭まっています。

こうした先の見通せない状況下で、皆さんが力強くしなやかに生きていくために、二つのことをお話ししようと思います。

一つは、これからの皆さん

の長い航海を導いてくれる羅針盤をもつということです。

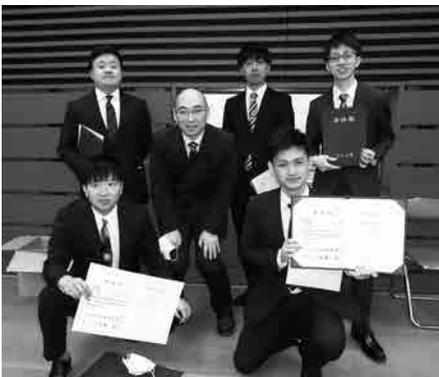
これは、企業経営においては「パーパス」と呼ばれるものですが、企業は何のために存在するのか、つまり存在意義は何かを表したものです。

それは会社としての抛り所を示すものであり、たとえば、ソニーのパーパスは「クリエイティブイティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」というものです。この

「世界を感動で満たす」というパーパス、すなわちソニーの存在意義によって、会社として追及する価値にブレがなくなり、組織に一体感が生まれ、社会や消費者からの共感も高まることとなります。

皆さんも自分自身の抛り所としての「パーパス」を明確に持っている、それが自らの行動基準・判断基準となるため、環境の変化が激しい中にあっても、あなたも羅針盤が適切な方向を指し示してくれるように、仕事をやるうえでも、日々の生活の中でも、いつでもどこでもブレずに自分自身をもっていることができるようになります。

これは決して難しいことを



真部ゼミ



香川ゼミ

考えるわけではなく、これまでの自分自身を振り返って、自分らしさとは何なのか、周りが自分に対して期待することは何なのか、そうしたところから考えていけばよいものです。そして自分自身が成長すれば、それに合わせて柔軟に修正していけばよいのです。ぜひ社会人へ向けて、自らの羅針盤としての「パーパス」を定義づけてみてくださ

い。二つ目は、これからの時代に対応するためには、常に自分自身の価値を高めていくことが重要になってきます。そのため、常に学び続ける気持ちを持ちを忘れず持つてほしいということ。

新たなテクノロジーが次々に誕生し、それが高度化・多様化するにつれ、関連する様々な分野の進化・革新のスピードも速まっています。それに応じて活用できる知識・技術の有効期間もますます短くなっています。常に感度の良いアンテナを張り巡らせて情報を収集し、貪欲に新しい学びに挑戦してほしいと思います。そのため、ぜひ大学・大

学院を活用してください。大学は卒業したら終わりではありません。新しい学び、より高度な学びのために戻ってすることもできます。それに対応すべく、大学も大学院も進化を続けています。社会人を経験して一回り成長した皆さんと議論を戦わせる学びの場が実現する日を楽しみにしています。

また大学は必ずしも学問的な学びだけではありません。皆さんは、大学生生活を通じて生涯にわたるかけがえのない仲間に出会えたのではないのでしょうか。このように、大学は自らの人間性を高めていく人生の学びをする場でもあります。ですから、社会に出て困難にぶつかった時、心の支えが必要になった時には、ぜひ懐かしい学び舎を訪ねてみてください。きっと恩師や後輩たちが温かく迎えてくれるはずです。そして、再び困難に立ち向かう勇氣と力を与えてくれると思います。

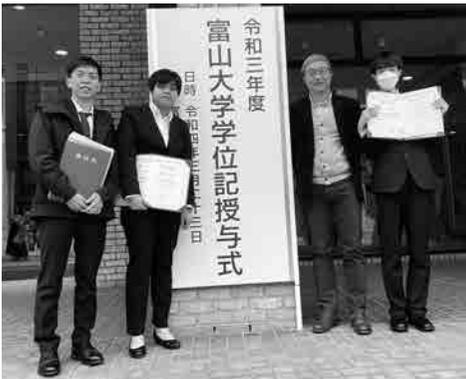
さて、今日から富山大学経済学部、大学院経済学研究科は、皆さんの母校となります。二万人を超える先輩たちが築

き上げてきた地域や人との繋がりは、皆さんにとってこれからの人生を生き抜く財産になるでしょう。

これまで大学・大学院で学んだこと、経験したことは必ずこれからの人生の糧になるはずです。皆さんには自信をもって自らの道を進んでいてほしいと思います。

皆さんの将来が実り多きものであることを心から願いまして、経済学部、大学院経済学研究科学位記授与式の式辞といたします。

令和四年三月二三日  
富山大学経済学部長  
富山大学大学院経済学研究科長 森口 毅彦



馬ゼミ



岸本ゼミ



松井ゼミ

越嶺会会長祝辞



皆さん、本日は、ご卒業及び修了をなされ、誠にありがとうございます。

ご臨席の保護者の皆様には、同窓会を代表して、心よりお祝いを申し上げますとともに、森口学部長先生並びに諸先生方のご功勞に対し、改めて敬意を表します。

経済学部の同窓会である越嶺会は、約二万五千名の会員を有しており、二年後の二〇二四年（令和六年）には、創立一〇〇周年という大きな節目を迎えることとなりますが、今後の越嶺会を担う皆さんの輝かしい未来を祈念しているところであります。

大学からの卒業は人生において、大変重要な節目であり、今後は社会人の一員として、これまで学んでこられた様々

な知識、経験を、いよいよ実践の場に移して、社会に貢献していくステージに立つこととなります。

現在の皆さんの心境は、富山大学で学んだことや経験したことについて、大きな達成感を感じるとともに、これからの人生がどのようなものになるのかについて、少しばかりの不安と大きな期待が入り混じっているのではないかと思います。

さて、国内に眼を向けますと、世界に感染拡大した新型コロナウイルスは、これまでの日常生活が当たり前でないことを深く認識させられました。この結果、皆さんも経験されている大学での遠隔授業をはじめとして、以前はなかなか実践できなかったテレワークなどの働き方改革が進むとともに、各企業がデジタル技術を活用した生産性の向上や、事業変革に取り組むようになるなど、社会経済環境が劇的に変化しております。

一方、国内外では、世界的な規模での地球温暖化対策を

進めるため、脱炭素化に向けた取り組みが急速に進んでいるほか、ロシアのウクライナへの軍事侵攻による世界経済への打撃など、私たちが直面して解決していかねばならない課題が山積しております。こうした不透明かつ多くの困難が立ちほだかる時代にあつて、皆さんは、今後、どのように自分の未来を切り拓いていくべきかについて、真剣に悩み、また途中で立ち止まつてしまふことも多々あるのではないかと思います。

しかしながら、どのような時代であつても、「人」すなわち人材がこの社会を適切に運営していくことが求められ、多様な人材があらゆる分野でイノベーションを起こして、社会を活性化していくことが期待されています。

皆さんが困難な課題に遭遇した場合には、真つ先に、豊かで厳しい自然を有する富山の地で学んだこと、そして多くの学友との交流や、自分の成長を後押ししていただいた諸先生方の姿、また、同じ志を抱いている多数の越嶺会の会員が身近にいることを思い出して欲しいと思います。



そして、置かれた環境をしつかりと把握して、幅広い視野を持ちながら、自分の可能性を信じて果敢に挑戦していただきたいと思います。富山で培った識見や経験、そして人脈は、必ずや皆さんの新たな挑戦に大きな勇気や気づきを与え、自己の無限の可能性や大きな成功につながっていくものと確信しております。

皆さんには、「人としての優しさを続けながら、いつまでも心の自由人でありたい」という言葉を伝えたいと思います。この言葉は、これまで自分を支えていた周囲の方々への感謝の気持ちを持ち続けること。そして、自分の人生の行先は、あくまで自分の気持ちに素直になつて、対話をしながら判断していくことが最も大切であり、自ら限界という壁をつくることなく、自由で大きな世界を意識して、これからの長い人生の歩みを進めていただきたいと思ひます。

結びに、皆さんの今後のかぎりない活躍を、心からお祈りいたしました。お祝いの

言葉とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。

令和四年三月二三日  
越嶺会会長  
伍嶋二美男

**入 学**

二〇二二年四月八日(金)富山市総合体育館にて入学式が二部に分かれて挙行され、斉藤滋学長が九学部、大学院二三五名の入学許可を宣した。経済学部生は昼間主三三六名、夜間主三三名。また大学院人文社会芸術総合研究科共創経済プログラム入学生は一三名であった。

**入学生への「特別講義」**

手崎裕之(学部四三回)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

なるべく皆さんにメッセージが届きやすいように、少しでも若い世代からということ、私がこの場に立たせて頂いております。

地域別入学者数(2022年4月1日現在)

	昼間主コース		夜間主コース		合計	
	男	女	男	女	男	女
北海道	1		2		3	
東北	青森	1			1	
	宮城	1		1	2	
	山形	1			1	1
	福島	1	1		1	1
関東	栃木	1			1	
	群馬	1	1		1	1
	埼玉	2			2	
	東京	1			1	
甲信越	神奈川	1			1	
	新潟	6	5		1	6
北陸	長野	1			1	
	富山	17	7	1	2	18
	石川	53	49	10	7	63
東海	福井	32	40	3	2	35
	岐阜	15	9	1		16
	愛知	12	7		1	12
	三重	5	3			5
近畿	滋賀	26	6			26
	京都	4	2			4
	大阪	4				4
	奈良	1	1			1
	和歌山	3	1			3
中国	徳島	2	1	1		3
	岡山	1				1
	広島	1	1			1
	山口	1	1			1
九州・沖縄	福岡	1				1
	長門	1				1
	大分	1				1
	沖縄	1				1
私費外国人留学生	1				1	
合計	200	136	19	14	219	150
	336		33		369	



それなりに社会を経験している先輩代表として、短い時

間ですが、学生生活をこう過ごしてはどうかというアドバイスを、経験を踏まえてお伝えしていきたいと思ひます。

厳しい受験勉強を終え、特にコロナ禍で様々な制約を受けてきた皆さんですから、今は如何に楽しい大学生活を送ろうか、何をしようかと考えている方が恐らく大多数じゃないかと思ひます。これについては全く否定する

つもりはなくて、逆に全力で遊んで・楽しんで・いろんな経験をしたいと思えます。但し、いろんな経験の中で、夢や目標をなるべく早い時期に見つけ、自分の将来像を描いて下さい。さまざまな経験の中でいろんな人と出会い、いろんな価値観を知ることによって成長させるとともに、人脈を築いて欲しいと思います。それが夢の実現に向けての近道になるといいますが、皆さんにお伝えしたいポイントです。



今日はこれだけを頭の片隅に置いて欲しいので繰り返しです。全力で学生生活を楽しまい、いろんな経験を積んで下さい。その中で、いろんな人と出会うことで、人脈を築く

とともに、自分の将来像を早いタイミングで描いて下さい。なぜ、人脈の構築と将来像を早いタイミングで描く事を皆さんにお勧めするのかについて、この後、順にお伝えしていきますと思います。

**先ず、自分の将来像を早期に描く必要性から話していきたいと思います。**

実経験の話ですが、漠然と大学生活を過ごしていたある時、就職活動を終え、希望に満ちた表情でキラキラ輝く先輩がいる一方、希望かなわず表情が曇っている先輩の姿も見ました。

その時、この四年間は将来の大きな分岐点になると感じたことを今でも鮮明に覚えています。そして、自分もキラキラ輝く先輩のようになるには、どうすればいいかを真剣に考えました。その答えが、四年間を戦略的かつ有効に時間を過ごすことだと考えたわけです。

そのために、何を考え、どう行動したのかと言うと、ゴールを定め、そのゴールに向かって逆算して行動したという事です。将来どんな会社

に勤め、何をやりたいのかを、まず決めようと考えました。

但し、そう簡単には決まりません。この会社は何を作っているのか、という情報は簡単に入手出来るのですが、そこで働いている社員がどう考え、やりがいを感じているのか、といった情報なんてないわけですから、なかなか決めるようがありません。

そこで、どうしたのかと言うと、気になる会社をピックアップし、見ず知らずの富大卒のOBに電話をかけ、会って貰い、いろんな話を聞かせて貰いました。その中で、北陸の全世帯・全ての会社がお客さまとなり、会社の発展イコール北陸の発展に繋がる、という言葉が深く胸に突き刺さり、北陸電力に入社したいという目標を定めたわけでした。そこからは逆算です。どの授業を選択し、大学時代にどんな知識を身に付けなければならないか、どのゼミに入るのが最善かということが見えてきます。目標をセットすることで、授業の吸収度合いが全く違ってくると思いますし、結果、目

標の達成に近づくという訳です。

目標を明確化することで、非常に有意義な大学生活になりましたし、この立場にいるベースが築けたと振り返った今、実感しています。皆さんも今日がスタートだと思い、将来像を早めに描き、是非とも有意義な学生生活を送って欲しいと思います。

**次に、いろんな人と出会い、人脈を築く必要性について話します。**

皆さんが充実した学生生活を終え、晴れて次のステップに進んだとします。そこで必要となってくるのが人脈です。私の場合、企業を選択する際にアドバイザーをいただいた先輩とは、今でもお付き合いをさせて頂いていますし、アルバイトや諸々のイベントに参加して親しくなった方、学生時代の友人や先輩、全てが今でも困った時の助けになってくれています。会社生活の殆どで営業の仕事をしていますが、それなりの実績を築けたのも、人脈があつてこそと断言できます。

余談ですが、カンブリア宮殿という番組をご存じですか。今勢いのある会社や成長し続けている会社を特集している番組ですが、カンブリア宮殿に出演された、一部上場企業の会長とも、遊びにおいてよ

と云っていただけの関係を築けています。これは、人脈を大切にしてきた私の財産だと思っています。本日、このような場でお話させていただけるのも、先輩方からご依頼を受けての話です。全て人脈があつてこそ話なんです。

また、いろんな人と出会い、人脈を築くことは別のメリツトもあります。

それは、いろんな人の話が聞け、いろんな人の考え方を知ることが出来るということ。自分では経験していなかったことを学べる利点もあるでしょうし、意見が同じでも、そこに行きつくプロセスの違いみたいなものも理解できるでしょうし、同じものを見て、人それぞれ見る角度が違うということも理解できるでしょう。

いまは多様性が求められる時代です。こういった経験が、全学部に共通して必要になっ

てくると思います。是非とも、学生時代から、いろんな考えを持つた人の意見を聞き、議論し、価値観・世界観を広めていって下さい。

私がお伝えしたいことは以上です。八分程度の短い時間なので、皆さんの心に残るメッセージをお伝えできたかは疑問ですが、私もまだまだ第一線で頑張るつもりなので、充実した学生生活を送り成長した皆さんと、一緒に社会で活躍できる日が来ることを待っています。そして伝統ある富山大学と一緒に盛り上げていきましょう。

ご清聴ありがとうございました。

### 学生の活動

#### 第五二回北信越ブロック インナー大会に参加して

令和三年十二月十二日  
金沢星稜大学

この大会は日頃の研究の成果を発表する場を提供し、研究活動の促進と他大学の学生との交流を図るものとして開催されている。経済学、経営



学、財政、地域経済など幅広い分野の研究を聴き、さまざまな分野の知識を吸収することもできる。本学からは七グループ、二二人の学生が参加した。他にも金沢星稜大学と新潟大学の学生も参加し、それぞれが研究発表を行った。二〇分間で発表を行い、学生同士の討論や助言講師からの総括をいただく形式で行い、各発表に対して活発な討論が展開された。発表に対しての採点も行われ、プレゼンの技術や研究内容について助言講師の方から採点をいただき、今後の研究に生かす良いきっかけとなった。最終的には採点の高いゼミには表彰があり、

本学のゼミも数多く表彰され、とても充実した大会となった。

当日の発表は、各グループの研究を聴けるいい機会となり、さまざまな知識を吸収することができた。発表の仕方も工夫されていて、聴いていても興味が出てくる内容ばかりだった。学生同士の討論も非常に盛り上がり、研究発表の質がとても高い印象を受けた。これも本大会の目的である研究活動の促進と他大学の学生との交流を図るという趣旨の通りであった。自分たちのグループは研究の段階からデータの作成やデータの統計など苦労したことがたくさんあったが、先生のアドバイス等により発表できるまでにまとめ上げることができた。このインナー大会で発表できるような研究をするという自分たちの目標が達成できたととても良かった。自分たちが研究したことを他の人に発表できる機会は滅多にないので今大会を通して貴重な経験ができたと思う。今大会の研究活動の糧になると思う。

今大会は新型コロナウイルス

スの関係で開催までの準備から苦戦し、各校による理事校会議もオンライン開催となり、意思疎通がうまく図れず、バタバタしてしまつた。それでも各校の代表者を中心に頻繁に連絡を取り合いながら協議を重ね、なんとか開催することができた。開催校である金沢星稜大学の皆さんには直前までマニュアルの作成や当日の発表の準備などさまざまなところで動いていただき、スムーズな運営ができていたのではないか感じた。

最後に、開催に関わっていただいた金沢星稜大学、新潟大学、富山大学のすべての関係者の方に感謝したい。

若林颯斗 記

北東アジア経済発展国際会議 (NICE)

第3回

Future Leaders Program(FLP)で富山大学経済学部学部長生チームが審査員特別賞受賞

今年二〇二二年二月一八日、新潟市朱鷺メッセのスノーホールにおいて開催されました。この国際会議では、第三回

Future Leaders Program(FLP)の大学生・大学院生によるプレゼンテーションコンテストも開かれ、応募した三年生の湊屋愛さん、佐藤奈々帆さん二名による富山大学チームが審査院特別賞を受賞しました。このFLPは「北東アジアの未来シナリオ」とのテーマで、大きな経済発展の可能性とともに政治・社会的な不安定要素も併せ持つ北東アジアの将来に向け、未来を担う学生たちが自由な発想でシナリオを描くコンテストです。

書類審査により、東北大学・東北学院大学チーム、新潟大学チーム、富山大学チームが本選出場チームに選出され、本選会場にてプレゼンテーションを競いました。当日の様子は五カ国語(日英中韓ロ)に同時通訳され、北東アジア五カ国にインターネットで中継されました。コンテストの結果、奨励賞該当者はなく、東北大学・東北学院大学チームに新潟県知事賞、審査員特別賞に新潟大学チームと富山大学チームが選ばれました。



富山大学チームは、「就業体験が切り開く未来シナリオ」北東アジアインタナショナルネットワーク構想」を発表しました。大学・政府・企業の連携のもとに、ワーキングホリデー制度の問題点を克服しつつ、北東アジアにおいて英語ベースでの安心安全な就業体験を実現させる。そのことで言語制約のないインタナショナルシップを実現させ、北東アジアの多様性を尊重しつつ地域内で共に暮らし、働き、学ぶ環境を整え、北東アジア全体の経済統合を促そうと呼びかけています。審査員の鋭い質問に臆することなく堂々と応答し、そのプレゼンテーション能力が高く評価されました。

経済学部ゼミナール協議会 「ESTUDIO」復刊 第十四号(通巻第四五号)発行

二〇二二年三月発行掲載論文

富山県の女性管理職登用の取り組みについてー民間企業・公的機関の女性管理職へのインタビューを中心にー

高坂巴菜・中嶋真由・中坪真実・林 希星・柳原風緒・山崎元暉・古川真尋 (矢島ゼミ)

地域の観光資源がもたらす経済効果と活性化に向けた提言ー富山県朝日町の事例ー

若林颯斗・金場一翔・牧奎佑 (中村和ゼミ)

地方空港の現状と今後の経営方式についてー富山きときと空港を例にー

大岡正宙・山本 篤・狩場翔平 (矢島ゼミ)

生活保護の現状・課題と解決策としてのベーシックインカム

黒柳成央・里崎 凜・関川舜也・高見聡斗・長瀬泰地 (大坂ゼミ)

# 本部だより

## 名誉博士号

おめでとうございまほ。

中尾哲雄さん(越嶺会最高顧問・学部八回)は、富山県立大学下山勲学長から、三月十九日の学位記授与式において「特別功労表彰状」を贈られ「名誉博士」号を授与されました。

中尾さんは二〇〇四年発足の富山県立大学研究協力会発起人代表や初代会長を務め、同大学の発展に大いに貢献された。

## 会員の叙勲

叙勲おめでとございまほ。

令和三年秋の叙勲

瑞宝小綬章

戸神 範雄さん

(学部二一回)

元三重県企業庁長

旭日小綬章

榎 春夫さん(学部二一回)

元岩塚製菓社長、元全国米菓工業組合理事長。中国に進出

し好業績。豪雪で高速道の渋滞したトラックなどに柿山を配って励ましたことは話題になった。

令和四年春の叙勲

旭日小綬章

中村 昌弘さん

(学部二一回)

前名古屋銀行頭取。

現在、越嶺会東海支部長

## 寄付金御礼

寄付金をいただきました。記して御礼申し上げます。

経済学部へ

塚田 隆様 (学部七回)

一〇〇万円

会長を務めるシキノハイテク株式会社の上場記念として寄付いただきました。

越嶺会へ

林 重彦様 (学部一回)

一万円

齋藤元續様 (学部八回)

二万五千元

石田五十六様 (学部十四回)

三十万円

自費出版本『そば』の印税の一部を寄付いただきました

た。二冊目として随想本

「蝮帖(おけら)の戯言

(たわごと)」を本年九月

に幻冬舎から出版予定との

ことです。

東山伊久雄様 (学部二一回)

二万五千元

吉崎明弘様 (学部四二回)

二万五千元

## 支部だより

東海支部総会は取りやめます。関西支部総会も取り止めます。福井支部総会は十月二二日(土)に予定しています。

## 経済学部資料室だより

### 大熊信行文庫新着資料

『創立百三十周年記念誌』

山形県立米沢興譲館高等学校

校創立一三〇周年記念事業実

行委員会A4判八十一三八

頁 二〇一六年十二月発行

「興譲館の教育を語る」『興譲』二十二号(一九七七年三月発行より)

大井魁校長(一九七〇年四月〜一九八〇年三月在職)が、米沢の人が先生を大切にすることのエピソードとして、大熊信行が語った恩師福田徳三への毎年の墓参りと米沢地域の特性を紹介。

……米沢ほど師を大事にする土地はない。自分が恩師を大切にすることも米沢で育ったおかげである、と大熊先生は語られたのです。大熊信行先生は明治四五(一九一二)年卒。座談会の頃、大熊は八三才で存命。大井魁氏は、大熊が一九四八年に米沢で主宰した教育思想研究会に参加し執筆活動も行っていた。大熊の没後は大熊信行研究会代表も務めた。

## 寄贈図書・資料の紹介・御礼

高商十五回本田健士様の

甥・本田孝範様から

中学時代、中学軍事訓練、高岡高商時代、卒業後の出征の写真、高商十五回卒業生名簿(B4判一枚)、卒業式次第・高岡高商校歌歌詞



遺品を整理の折、叔父が撮影した写真などが出てきたので、飯塚修様（関東越嶺会長）に相談され、越嶺会に寄贈いただきました。



当時、写真は今と違って高価で手軽に撮影できなかった。昭和十一（一九三六）年六月から十七年八月までネガアルバム四冊七百枚。その内、高商や高岡市内、富山県内、立山などを写したものは昭和十四年六月二〇日から十六年十二月二十八日まで二百枚ある。

飯塚関東越嶺会長は、月刊誌「富山県人」に随想を寄稿。元の勤務先プリンス自販やサッカーを通じた、甥の本田孝範様との縁も記しておられる。



飯塚修様学部二四回から「KICK OFF」創刊号第三号

飯塚様が富山大学サッカー部二年時（一九七五年三月）に発案し編集責任者となって発行した。B5判で創刊号は青焼き七二頁、二号四八頁、三号五〇頁はガリ版刷り。各自が書いた頁を集め黒紐で綴つてある。筆跡、文字の大きさもさまざままで正に手作り。

——このように在学中に作られたさまざまな印刷物などをお貸しください。学部歴史の一つとしてコピーを保管させていただきます。——



増井秀次様学部二六回から『華麗なる明治七宝』A4判一三六頁 二〇二〇年九月一日ブイツーソリユーション発行。三一九〇円（税込）

著者の増井様が退職を機に出版。里帰りコレクション※を中心に明治七宝の歴史、製作工程、技法別分類も交えて解説。「名もなき名品」、特に技法や絵画の面白さを中心に、琴線に触れるものを無傷完品にこだわらず収集したものの。

「細密の世界で魅了した七宝の美」展開催中  
名古屋市新栄・横山美術館  
四月二十九日～七月二四日

※里帰りコレクション  
「七宝焼」は明治政府の重要輸出品として大いに隆盛し高い技術が考案され目覚ましい進

歩を遂げた。その殆どは英国米国に輸出された。増井さんはインターネットで海外オークションに参加し収集した。

卒業論文を  
お返しします

返却ご希望の方は越嶺会事務局までご連絡ください。（メール、FAX、葉書、電話などで）  
送料はご負担願います。  
受領書返送時に切手等でお願います。  
短大の方の分はありません。

最近の方は、パソコン入力で、既に返却済み、あるいはコピーをお持ちかと思えます。保管分は少ないようです。  
さらに、これは任意ですが、返却を希望した理由、思い、受け取られた感想・感慨をお書きいただければ幸いです。ご了解を得た上で、会報に掲載したいと考えています。18・19頁お読み下さい。

卒業論文を手にして

杉浦 吉治

「え！これが私の卒論か！  
背表紙はかなり日焼けして  
いるが、グリーンを基調とし  
たハードカバーのなんと立派  
な装丁か！一五七ページのま  
ずまずのポリウムだ。それ  
にしても、ペン書きで楷書の  
実に丁寧な文字だ。」

平成二四(二〇一二)年十  
月十一日のことである。柴田  
ゼミの先輩方に企画していた  
だいた久しぶりのゼミOB会  
の会場でのことである。

タイトルは『経済統合の理  
論』で、「はしがき」には、  
「現在、E E C (欧州経済共  
同体)をはじめとして、欧州  
自由貿易連合、ラテン・アメ  
リカ共同市場、アフリカ共同  
市場等の経済統合が結成され  
それぞれ世界経済の注目を浴  
びている。最近では、経済統  
合が国際経済の中心問題とな  
っているといっても過言では  
ないと思う。国際経済学を端  
切れほどではあるが学んでい  
る私も、この問題に興味を持  
たないはずはない。(以下略)

ている。

実は、卒論テーマは、先生  
から「杉浦君は数学はあまり  
得意ではなさそうだから、こ  
れならいいだろう」と言われ  
決まったものだ。巻末の「参  
考および引用文献」として、  
ほとんど消化不良の文献が何  
と十一冊も列挙してある。と  
ころが、である。帰宅後、読  
み進めていくと、「参考」ど  
ころかほとんど「引用」ばか  
りではないか！恥ずかしい！  
いつたい私はあの一年間何を  
していたのか？これでよく卒  
業できたものだ。あの厳しか  
った柴田先生なのに？：：  
しかし、タイトルが良かった。  
た。東京五輪翌年の昭和四〇  
年の厳しい「就活」(当時、  
この言葉はまだなかつたよう  
に記憶している)の二次試験  
の面接で、人事担当の重役か  
ら「君の卒論は？」との質問  
に、「経済統合の理論です」  
と答えたら、「ところで、イ  
ギリスのE E C加盟の可能性  
はあるかね？」と質されたの  
で、「ドゴール次第です！」  
と即答した。「そうかね」と  
重役。どうやらこれで採用が  
決まったようだ。事実、イギ  
リスの加盟はそのとおりにな

った。

卒論を返してもらった後、  
このままでは恩師柴田先生に  
申し訳ないと思い、その書き  
直しを考えた。しかし、二〇  
一六年六月二三日に国民投票  
でイギリス国民は僅差でE U  
離脱を選択した。それ以降の  
混乱ぶりはお存知のとおりで  
ある。一九三九年独ソ不可侵  
条約締結時の平沼騏一郎首相  
の「欧州の天地は複雑怪奇な  
る新情勢を生じた」ではない  
が、あまりにもイギリスとE  
Uとの関係が先行き不透明だ  
つたため、私も「イギリスの  
天地は複雑怪奇なる新情勢を  
生じた」ことにより、とても  
私の手に負えるものではない  
と考え書き直し卒論のテー  
マを変更せざるを得なかつた。

翌年の二〇一七年正月のN  
H K・BS放送で「欲望の資  
本主義」が放映された。この  
中で、二〇〇一年ノーベル経  
済学賞受賞のJ・E・ステイ  
グリッツ・コロンビア大学教  
授が「アダム・スミスは間違  
っていた」と言い切った。こ  
れには驚いた。「経済学の  
父」といわれるアダム・スミ  
スを敬愛してきた私は、畏れ

多くもノーベル経済学賞受賞  
者に反駁しようと決意し、こ  
れを書き直し卒論にしようと  
決めた。タイトルは『アダ  
ム・スミスは間違っていないか  
つた』とした。サブ・タイト  
ルは、スミスの「見えざる  
手」の新自由主義者の解釈に  
関連して、現状のままの資本  
主義の先行きが不透明になつ  
たため、「資本主義は持続可  
能か」とした。

それ以降ネットや古書店な  
どでスミスに関する、また反  
スミス論に関する書籍を手当  
たりしだい買い求めた。数十  
冊にもなるであろうか。その  
中には戦前から終戦直後まで  
に発行された紙質は劣悪なる  
も貴重なものが何冊もある。

スミスの主要著書『道徳感  
情論』と『国富論(諸国民の  
富)』は、翻訳もので三、四  
種類ある。しかし、キーワー  
ドの訳語が微妙に異なるので  
その説明のために、前者は初  
版発行二五〇年を記念して二  
〇〇九年に発行された、尊敬  
するアマルティア・センの序  
文が収録された第六版、後者  
は第五版であるキャン編の  
ものを、それぞれ原書一冊ず

つを丸善から取り寄せた。さらに、サブ・タイトル記述のためには、マルクス、シユンペーター、ケインズ、ハイエク、さらにフリードマンほかも読まなければならぬ。

さあ、大変なことになった。「論文を書くのは命と引き替えだよ」と柴田先生が奥様におっしゃったことを思い出した。今年八十路を迎えた私が、果たして命のある間に書き終えることができるか、が問題である。

しかし、これが結構、ボケ防止になつていのではないかと自負している。存命中に書き終えることができたなら、ご健在であられる柴田先生の奥様に献呈しようと思つている。また、『越嶺会報』にその要約を「越嶺論考」として投稿しようと考えている。

最後に、卒論を返却していただき、老後に生きる目標を与えてくださった越嶺会事務局に心よりお礼を申し上げます。

すぎうら・よしはる  
学部十四回

あれから半世紀を経て

塩谷 恭子



年二回送られてくる「越嶺会報」に卒業論文を返却するというお知らせがあることに気づき、ふと電話をかけてみました。約二週間後にレターパックが届きました。封を切つて出てきたのは紛れもなく約五十年前に提出した私の卒業論文でした。堅牢は厚紙で製本されて、黒い背表紙には論文の題名がしっかりと刻銘されています。ページをめくると少しセピア色に変色した卒業用の原稿用紙に、私の字体で、テーマと内容は今読み進

むと稚拙で、でも密かな自信に溢れた文章です(笑)。あれから半世紀、今の私がここに至るまでのことが走馬灯のようには蘇ってきました。

社会人の第一歩は富山地方裁判所総務課勤務でした。一年後、内部登用試験を経て東京都文京区にある最高裁判所書記官速記研修所に入り、二年後、東京地方裁判所民事部に配属になりました。ほどなく富山県砺波市の実家の母の勧めもあつて衆議院議員富山2区選出の秘書に転職し、そこで知り合つた秘書仲間の一人と結婚して、福島市に移り住みました。

結婚後、二人の子どもに恵まれましたが、紆余曲折もあつて、長女の小学校入学した年に義父の所有地六百余坪を夫が譲り受け、私立幼稚園を創設しました。私は幼稚園教諭一種免許を取得するため玉川大学通信教育部に入り幼児教育と保育学を学び始めました。免許取得後、自園で副園長から園長職に就き、さらに明星大学通信教育部の大学院に進み、修士課程も終了し、市内の桜の聖母短期大学の子ども保育コースで専任教授と

して教鞭を執つておりました。現在、創立した幼稚園は「学校法人白百合学園認定こども園白百合幼稚園」として、園長職は娘婿に継いでもらい、私は理事長職に就いています。夫は二十年前に社会福祉法人を立ち上げ保育園二園を経営しております。

小学校時代にバイオリンを習つたこともあつて、大学時代は「富山大学フィルハーモニー管弦楽団」に入部しピオラを弾いていました。後に、バイオリン奏法を通して幼児教育指導法を考え出された鈴木木鎮一先生の著書「愛に生きる」に出会いスズキメソッドの世界に導かれ、鈴木先生の主宰する才能教育研究会との出会いがありました。

幼稚園経営の傍らで日本保育学会に籍を置き、幼児教育と保育を学び、自分の幼稚園の幼児教育のバックボーンを築くことで四十代から五十代を無我夢中で過ごしました。ドイツ、ハンガリー、イタリア、スイス、オランダなど、またアメリカ合衆国やカナダへと海外の幼児教育視察に機会あるごとに出掛けました。

フレイベルやモンテッソーリの幼児教育理論に匹敵するスズキメソッド幼児教育を私の園のバックボーンとして、「どの子も育つ、育て方ひとつ」を園の建学の精神に据え、今日に至っております。

三十五才から出発した私の幼児教育と保育学の学びは今年で四十年目を迎え、今、教育・保育と園経営という車の両輪の役割を担うに至っています。学校法人という公益法人の運営上、昔、経済学部生として経済原論や簿記学を学んだことは、私自身の中で大きな力となっています。資金の流れ、法人運営の財務、バランスシート上での借り方貸し方の概念を根底に持つことで、円滑な経営を持続してこられたと考えます。「経済学は形而下学である」と教わったことが印象に残っており、その後関わる「幼児教育・保育」は「形而上学」として「経済学という通奏低音に支えられた形而上学」を学ぶ悦びを噛み締めています。故郷は遠きにあります。故郷は遠きにあります。想うもの、仰ぎ見る立山連峰の雄姿を胸中奥深く宿しつつ、

富山大学経済学部卒業生として、福島の地で胸を張って生きていこうと強く思うこの頃です。

しおや・やすこ  
(旧姓 築場 やなば)  
学部十七回

**ゆうちょ銀行の送金「現金利用時の加算料金」について**

「会報発行協力金」にご協力いただきありがとうございます。その現金(硬貨、紙幣)振り込みには窓口、ATMでも、今年二〇二二年一月一七日から「現金利用時の加算料金百十円」がかかることになりました。「送金料」は越嶺会負担ですが、その加算料金は払込人の会員の皆さまの負担になります。

**無料になるのはゆうちょ銀行の通帳、またはキャッシュカードを使用してATMから振り込む場合です。**

振込用紙を入れますと、「現金」か「通帳またはカード」の選択場面が出ますので、「通帳またはカード」を押して通帳またはカードを入れ、順次進めれば、この「加算料金」百十円はかかりません。

**会員の訃報**

謹んでお悔やみ申し上げます

卒業回	お名前	ご命日	卒業回	お名前	ご命日
高商15回	村上 敦男	令 3.12.9	学部 8 回	石渕 衛	令 3.12.7
	本田 健士	平 5.1.15	学部 9 回	中山 秀道	令 3.4.3
高商18回	石原 知二	令 2.12.27	学部16回	高井 凱史	令 3.12.9
	黒田 則一	令 3.4.3	学部18回	神津 猛	令 1
高商19回	森 一朗		学部19回	森 均	令 3.5.27
	伊藤 喬	平 27.10.13		竹田 勝	令 4.4.27
学部 1 回	坂森 耕一	令 4.5.19	学部21回	片野 隆夫	平 22.1.22
学部 2 回	田尾 實	令 4.2.18	学部22回	西崎 和夫	令 3.1.22
学部 3 回	伊藤 文衛	平 3.12.1	学部26回	青木 治雄	令 3.12.16
	木下 陽之	令 2.3.5	学部34回	今井 利行	令 3.9.29
学部 4 回	伊知地信人	令 1.6.5		服部 芳明	令 4.6.2
学部 5 回	夏目 勝治	令 2.10.26	学部49回	馬場 美憲	令 3.8.26
学部 6 回	窪田 紀男	令 3.7.25	短大 3 回	遠藤 主計	令 3.8.10
学部 7 回	熊木 藤吉	令 3.11.25		佐武 一英	令 3.9.8
	杉貴 良明	令 3.3.16	短大 5 回	伊井 信悦	令 3.1.16
	山西 靖夫	令 4.5.25		黒田 昭一	
学部 8 回	鍋島 正和	平 28.6.21	短大27回	増山 光朗	令 1
	関 増友	令 3.8.25			



# 富山大学基金だより

第 19 号  
2022.5.1 発行

## 短期オンライン海外派遣プログラムに参加して

医学部医学科 1 年 水野 祐希さん | 参加期間：令和4年3月1日(火)～3月12日(土)

この度は、富山大学基金の支援を受けてオンライン短期海外派遣プログラムに参加させていただき、誠にありがとうございました。私は今回、Franklin & Marshall College の American Liberal Arts Classroom というプログラムに参加し、liberal arts とは何かというものを実際に体験することができました。その中で様々な討論の場があり、“良い生徒”とはどのような生徒のことか、“良い文章”とはどのような文章のことか等、普段ぼんやりと考えている物事をより具体的に言語化して話し合うことで単に英語で意見交換をする練習になっただけでなく、相手からみえる自分の考え方を見つめなおすよききっかけにもなりました。

また、アメリカや Franklin & Marshall College の歴史や文化を学んだうえで、それに対する捉え方、

日本の文化との違いについて Franklin & Marshall College の生徒とも意見交換をする場があり、異なる背景を持つ方々とコミュニケーションを取る貴重な時間となりました。

将来は、国境なき医師団として世界中のたくさんの子供たちの命を救いたいと考えているので、これからこのような素晴らしいプログラムに積極的に参加して、自分の可能性をさらに広げていきたいです。



## 富山大学基金の寄附受入状況

受入期間：令和3年9月～令和4年3月末

寄附の種類	寄附件数	寄附金額
富山大学基金(一般)	128 件	9,774,764 円
(うちリサイクル募金)	(24 件)	(34,480 円)
修学支援基金	50 件	1,538,000 円
研究等支援基金	23 件	211,000 円
合 計	201 件	11,523,764 円

## 「アーカイブズ歴史資料館銘板除幕式を行いました」



富山大学は、令和4年4月6日、富山大学アーカイブズ歴史資料館銘板除幕式を行いました。

本学アーカイブズ歴史資料館は、富山大学150年の歴史を物語る数々の史資料等を恒常的に展示し見学できることを目的に整備したもので、学生、教職員、地域の人々に開放する予定です。同時に、博物館や美術館などの学芸員資格を目指す学生のために、実習の場としても活用します。齋藤学長は、「今後は、更なる資料の収集と整理を進め、展示内容の充実とともに、富山大学の魅力の発信に努めていきたい」と挨拶しました。

## 寄附者様ご芳名一覽

令和3年9月～令和4年3月

令和3年度から、ご寄附いただいた方のご芳名を基金だよりでもご紹介することとしました。

寄附者のご芳名は五福キャンパス事務局棟玄関フロア及び富山大学基金ウェブサイトでもご紹介しております。

## 個人(50音順・敬称略)

浅野 昂志	Awale Suresh	飯島 健雄	五十嵐勇一	井川 善也	池田 真行	泉尾 直孝	伊原 大輔
井本 剛司	大石 雄基	小川 雄大	金子 郁枝	金 俊達	久米 利明	黒田 廉	小泉 桂一
小ヶ口 節子	近藤 俊哉	齋藤 滋	酒井 秀紀	櫻井 恵子	佐藤 和恵	塩入 正和	柴田 迪子
清水 貴浩	杉田 昇	杉本 健士	関根 道和	田浦 太志	高城 正利	高倉 綾子	高橋 亘江
田口 雅登	竹越 栄俊	竹村 哲	竹村 樹里	武山 良三	田中加代子	谷本 裕樹	千葉 順哉
朱 妹	津田 裕子	恒枝 宏史	寺島 裕一	寺林 忠男	東田 千尋	遠山 和大	友廣 岳則
長柄 毅一	中尾 裕之	長坂 保彦	中嶋 優	中野 実	中山 和也	成田真由美	南部 寿則
西倉 修	野澤 豊一	萩原新之介	林 幸子	林 周作	原 和子	福井 和彦	藤井 拓人
藤井 春恵	藤山 俊	古里美和子	細川 勉	細谷 健一	堀口(高瀬)明子		松田 明子
松谷 裕二	水口 峰之	宮内 伸子	宮下 一夫	森 雅之	森賀 一恵	森口 毅彦	山下 修
山本 哲子	結城 澄子	横山 司甫	吉住美弥子	吉田 勝一	米丸 洋子	和田 努	渡邊 真一

(ほか公表辞退 71名)

## 企業・法人等

朝日不動産株式会社	一般社団法人インフォカート未来基金	株式会社協豊製作所	三和ボーリング株式会社
シロウマサイエンス株式会社	富山大学女子ソフトボール部	富山大学生生活協同組合	富越工芸株式会社

## 富山大学トピックス

## 「人間発達科学部は教育学部になりました」

富山大学教育学部は、福祉や情報に関する教育を含めて、人間発達科学部が培ってきた広い意味での教育人材養成の方法論と、金沢大学の学校教育学類が培ってきた学校教員養成の方法論とを合わせた、新しい形の教員養成学部となります。金沢大学人間社会学域学校教育学類との共同教員養成課程という形で、小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園の各学校種について、様々な教育課題に的確に対応できる実践的能力を備えた教員を、組織的・計画的に養成します。



## 「令和4年春の叙勲受章者発表」

## 教育研究功労

【瑞宝中綬章】 遠藤 俊郎 (富山大学名誉教授、元富山大学長、元富山大学附属病院長)

鏡森 定信 (富山大学名誉教授、元富山大学医学部長)

【瑞宝小綬章】 本間 実 (元文部科学省高等教育局専門教育課教育大学室長、元富山医科薬科大学事務局長)

【瑞宝単光章】 瀬川 美香子(元富山大学附属病院看護部副看護部長)

## 富山大学基金に関するお問い合わせ先

富山大学総務部総務課広報・基金室(基金担当)

〒930-8555 富山市五福3190 Tel. 076-445-6178 Fax. 076-445-6014

E-mail: kikin@adm.u-toyama.ac.jp URL: <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp/>

2022年6月吉日

越嶺会会員各位

富山大学越嶺会  
越嶺会グリーン会

## 第32回越嶺会グリーン会ゴルフコンペのご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、越嶺会グリーン会が主催するゴルフコンペを下記のとおり開催いたします。

依然コロナ禍ではございますが、越嶺会会員の皆さまにご参加いただき、同窓の絆を深める事ができればと考えております。何かとご多用のこととは存じますが、同窓会員の方々をお誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、表彰式・懇親会中止、あるいは開催中止とさせていただきます場合もございますので、何卒ご了承願います。 敬具

## 記

開催日時 2022年8月20日(土) 7時21分スタート  
 開催場所 太閤山カントリークラブ(コース:楠⇒蘭、茜⇒楠)  
 〒939-0323 富山県射水市平野1番地 / TEL:0766-56-1200  
 参加費 プレー代 15,850円(税込 / キャディ・乗用カート付き)  
 会費 5,000円  
 競技方法 18ホール・ストロークプレー H'cpは新ペリア方式を採用し、36で打切ります。  
 表彰 順位賞、飛賞、BB賞、ベストグロス賞、その他各賞  
 ※競技終了後、懇親会会場にて表彰いたします。  
 参加申込 参加ご希望の場合には、7月16日(土)までに、下記の参加申込書をFAXまたはご投函、あるいはメールにてお願い申し上げます。  
 お申込み先 越嶺会事務局 〒930-8555 富山市五福3190 富山大学経済学部内  
 TEL:076-445-6411 / FAX:076-445-6419  
 電子メール:etsurei@eco.u-toyama.ac.jp  
 お問合せ先 幹事 金瀬 正志(学部41回)  
 勤務先:日本海ガス(株) 〒930-8588 富山市城北町2番36号  
 TEL:076-433-1212 / 携帯番号:090-8965-1810  
 電子メール:kanase@ngas.co.jp 以上

## 参加申込書

宛 先:越嶺会事務局 / FAX:076-445-6419

第32回越嶺会ゴルフコンペに参加いたします。

A:高岡高商 B:富大経済 C:経営短大

フリガナ		生年月日	昭和・平成	年	月	日生
氏名		回生		参考H'cp		
住所	〒 -					
連絡先Tel	- -		電子メール			
同伴希望者名①	住所		回生			
同伴希望者名②	住所		回生			
同伴希望者名③	住所		回生			

